

表 専用設備のデジタル化・スマート化改造の内容

1	データの収集	センシング、自動識別、システム読み取り、工業制御データの解析などデータ収集技術を利用して、専用設備の性能パラメータ、運行状態・環境状態などの情報をデジタル形式に変換し、専用設備の情報のモニタリングと収集を実現する。
2	データの送信・保存	ネットワーク接続、プロトコル変換、データ保存などのデータ送信・管理技術を利用して、収集した専用設備のデータを送信・保存し、効率的に集約する。
3	データの分析	データ計算処理、統計分析、モデリングシミュレーションなどのデータ分析技術を利用して、収集した専用設備のデータに対し詳細な分析を行い、専用設備の故障診断、予測メンテナンス、最適運行などの改善を実現する。
4	スマート制御	自動化技術とスマート化技術を利用して、専用設備の監視や警報、動的なパラメータ調整、フィードバック制御（注）などの機能を向上させ、専用設備のスマート化制御を実現する。
5	デジタルセキュリティと保護	データ暗号化、脆弱性のスキャン、権限による制御、システムの冗長化やバックアップなどのネットワークセキュリティ技術を利用して、専用設備のデータの機密性と完全性を強化し、専用設備のデータとネットワークのセキュリティリスクの予防・制御能力の向上を実現する。
6	国務院の財政、税務に関する主管部門が科学技術、工業情報化に関する部門と共同で規定したその他のデジタル化・スマート化改造。	

（注）出力を入力にフィードバックし、両者の値が一致するように修正を行うシステム制御手法。

（出所）中国財政部・国家税務総局「省エネ節水、環境保護、安全生産専用設備のデジタル化・スマート化改造に関する企業所得税政策の公告」